

学校にいるとき

1 自分の身を守る

- まわりをよく見て、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所で揺れがおさまるのを待ちます。
- 机やテーブルの下にもぐり、脚をつかみ、揺れがおさまるのを待ちます。
- 体育館など広い場所にいたら、中央付近にしゃがんで、揺れがおさまるのを待ちます。



2 避難する

- 放送や先生の指示にしたがって避難します。落ちていたり倒れている物に気をつけ、「お・は・し・も」の約束を守って避難します。
- 指示があるまで、その場で落ち着いて待ちます。

登下校中のとき

1 自分の身を守る

- まわりをよく見て、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所で揺れがおさまるのを待ちます。
- 建物(かわら), ブロックべい, 門柱, 自販機からはなれ, 安全な場所へ移動します。
- かばんやバッグなどで頭をかくし, しゃがんで揺れがおさまるのを待ちます。



2 避難する

- 近くに大人がいるときは, 大人に助けをもとめていっしょに行動します。
- 学校が近いときは学校へ, 家が近いときは家へ避難します。
- 車には, 十分気をつけながら移動します。

地震

保護者の皆さまへ

家やほかの場所にいるとき

1 自分の身を守る

- 食器や本棚, 蛍光灯などが「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所で揺れがおさまるのを待ちます。
- 机やテーブルなど頭をかくせる物の下にもぐり, 脚をつかみ, 揺れがおさまるのを待ちます。
- あわてて火を消しに行ったり, 外には飛び出しません。
- 揺れがおさまったら窓を開けます。



2 避難する

- うちの人といっしょに避難所へ避難します。
建物(かわら), ブロックべい, 門柱, 車などに気をつけて移動します。
- うちの人がないときは, 近所の人といっしょに避難します。

学校の対応について

- 地震が起きたときは, 学校が一番安全な場所と考えてください。
- 学区内が震度4以下の場合, 原則として通常通りの日課です。状況によっては, 休校や一斉下校とする場合があります。
- 学区内が震度5弱以上の場合は, 全員を学校に待機させます。
保護者の皆さんも, 自身の安全確保を第一に行動し, 危険な状況を回避してください。
安全が確認できましたら, 迎えに来てください。
- 休校, 登校時間を遅らせる, 下校時間を早める場合は, 連絡網で連絡します。連絡がなくても, 危険な状況と判断した場合は, 自宅で待機させてください。



家族みんなで確認

『避難場所・避難経路・我が家の約束』